The Japan Association of College English Teachers (JACET)

高校生・大学生用英語基本語彙リストの評価に関する研究

An Evaluation of the Word Lists for High School and College English Education

比治山大学　馬本　勉

1．研究の背景と問題の所在

コミュニケーションを目的とした現代の日本の英語教育において、語彙力の重要性はますます高まってきている。しかし、各学習段階でどの程度の語彙項目を導入すればよいかという議論は不十分なままである。文部省の学習指導要領においては、最低限必要な語と、導入可能な語数の目安が示されているが、各教科書の語彙は大きく異なっている。同様に、数ある学習英和辞典においても、重要語のランク付けには大きな隔たりが見られる。

こうした状況は、英語基本語彙の選定基準が明確でないことに起因すると思われる。これまでに日本で選定・発表された語彙リストの多くは、大まかに「頻度」を目安としながらも、選定者の経験や主観、あるいはそれ以前の語彙リストを参考にして、語を選定している。結果的に、含まれる語彙項目の多くは頻度の高い語であるが、頻度の低い語が含まれる場合も少なくない。しかし、低頻度語の選定理由を明確に示した語彙リストは少ない。

選定の基準が曖昧である点は、基本語彙リストの評価が定まらない要因にもなっている。ある語彙リストに対し、「必要な語が含まれていない」あるいは「不用な語が含まれている」といった主観的な批判を繰り返していても、語彙選定の問題は解決しない。今求められているのは、客観的に語の重要度を示す指標である。ところがこれまでに確立された客観的な指標は、唯一「頻度」のみである。しかし、頻度が万能のものでないという点も、これまでの研究で明らかにされている。

2．研究の目的

本研究の目的は、複数の英語基本語彙リストを客観的に評価するための「操作的な指標」を作成し、それに基づく語彙リストの評価を行うことである。

3．研究の方法

（1）分析対象とする基本語彙リスト（高校生、大学生を対象とした以下のリスト）

語学教育研究所(1963)
長谷川潔ほか(編)(1988, 1994)中の「キーワード5000」
JACET 教材研究委員会(編)(1993)
園田勝英(1996)
全国英語教育研究団体連合会(編)(1967, 1981, 1988)

NII-Electronic Library Service

The Japan Association of College English Teachers (JACET)

（2）語彙リストを分析する指標として、馬本(2000)において示された「頻度」と「定義可能度」を用いる。

＊それぞれの数値を求める基礎データ
頻度：　ブラウンコーパスにおける語の頻度(Francis and Kučera 1982)
定義可能度：　*OED*[2] *CD-ROM*(1994)における Definition Search の結果

（3）上記分析の結果をひとつのグラフ上に示し、それぞれの語彙リストの客観的な評価を試みる。

4．結果と考察

各語彙リストの評価に関する具体的なデータは、会場において配布するハンドアウトに掲載する。

分析結果をもとに、語彙リスト評価の「指標」の妥当性を検討するとともに、高校生、大学生を対象とした基本語彙リストのあり方を議論していきたい。

5．参考文献

中條清美(1991)『英語教育基本語彙の選定に関する研究』（学位請求論文）千葉大学大学院自然科学研究科.

Francis, N. and Kučera, H.(1982) *Frequency Analysis of English Usage: Lexicon and Grammar*. Boston: Houghton Mifflin Company.

語学教育研究所(1963)「高校生の英語必修語彙(案)(5,000 語集)」『語学教育』261, 262: 29-62.

長谷川潔ほか(編)(1988)『プロシード英和辞典』福武書店.

————(編)(1994)『ニュープロシード英和辞典』ベネッセ.

JACET 教材研究委員会(編)(1993)『JACET 基本語 4000』大学英語教育学会.

Mackey, W. F., and J.-G. Savard.(1967) "The Indices of Coverage: A New Dimension in Lexicometrics." *IRAL* 5.2-3: 71-121.

村田　年(1997)「英語教育における語彙制限」『言語文化論叢』3 (千葉大学外国語センター): 27-37.

Oxford English Dictionary Second Edition on Compact Disc.(1994) Oxford: Oxford UP.

園田勝英(1996)『大学生用英語語彙表のための基礎的研究』北海道大学言語文化部.

竹蓋幸生・中條清美(1993)「語彙リストの客観的評価、比較のための有効度指標の開発」『言語行動の研究』3（千葉大学 英語学・言語行動研究会）: 68-84.

馬本　勉(2000)「学習指導要領「必修語」の選定に関する歴史的考察：頻度と定義可能度による必修語リストの評価」『日本英語教育史研究』15: 51-71.

全国英語教育研究団体連合会(編)(1967)『全英連 高校基本英単語活用集』研究社.

————(編)(1981)『全英連 高校基本英単語活用集』研究社.

————(編)(1988)『全英連 新高校基本英単語活用集』研究社.

NII-Electronic Library Service